

ヴェルボトナル研究所 2016年度 活動報告

関東短期大学「ヴェルボトナル言語教育研究所」の活動方針は、聴覚言語障害児を対象とした聴き取り指導、発音指導、言語指導、そしてそれらの指導法の研究、またヴェルボトナル理論と技法の普及である。

1. 指導活動

・指導は、館林（研究所）と仙台（仙台市福祉プラザ）で実施した。

活動場所	生徒数	生徒学年	指導頻度
館林 (研究所)	12名	幼稚園児 ～高校生	週1回～月1回 ※生徒のレベルによる
仙台 (仙台市福祉プラザ)	10名	幼稚園児 ～中学1年生	年4回 ※指導相談会として実施

2. 指導法研究

・2016年度後期より、言語教育に関する研究会を定期的に開催している。2017年より、隔月で開催していく予定である。

#	開催日	内容
1	10月20日	読字困難や書字困難など、失語症に関する基本的な勉強
2	1月8日	日本における難聴者への学校教育および家庭教育に関する歴史
3	3月29日	聴覚障害児のメタ認知機能等

3. 普及活動

・普及活動は、主に夏期講習会と短大授業内で実施した。

	参加者数	参加者所属	普及活動内容	実施時期
夏期講習会	18名	・大学教員 ・保護者 ・聴覚障害の高・大学生	ヴェルボトナル基礎理論と技法（「基礎理論」と「音素の緊張度」に関する解説と「指導見学・体験」）	8月6日
短大授業内	40名	「ことばの障害」履修者	聴覚言語障害の原因・症状・対応・改善について講義、および指導体験	前期15回授業 後期15回授業

・来年度も子ども学科の教育に資するような活動としていくことを考えている。